

2008年の電波伝搬実験を振り返って

de JA1RIZ

今年の実験移動は、若干の参加局の減少になりましたが、8ポイントの参加局があり、無事に終了することができました。雨、強風等でたいへんなところもありましたが無事に終了できました事に、厚くお礼申し上げます。

そして、各局お疲れさまでした。

各局の最大の関心事でありました最長距離交信はいかがでしたでしょうか。とりあえず、暫定結果として次の様に結果発表いたします。

(1) 最長距離交信 (表-2参照)

順位	移動局 A	移動局 B	相互距離(km)
1	JH1DXJ/1 新島	JR2CTR/2 青山高原	276.2
	JR2CTR/2 青山高原	JH1DXJ/1 新島	276.2
2	JK1CZD/7 蔵王ハイライン	JA1WOB/1 子の権現	271.0
	JA1WOB/1 子の権現	JK1CZD/7 蔵王ハイライン	271.0
3	JA1VWB/1 黒山展望	JK1CZD/7 蔵王ハイライン	265.7

1位の平野 OM ⇔ 東山 OM は相互に、RS 41/41でかろうじて交信が出来ました。海上伝搬の強みの結果といえるでしょう。見通し距離は相互の標高 (h1=380m, H2=750m) から 138.5Km と計算されるため、海上伝搬であっても完全な見通し外通信です。

2位の鈴木 OM ⇔ 齊藤 OM は東北連山、秩父連山による遮へい損失が考えられますが、谷あいには「すき間」をぬっての伝搬で、意外とロスが少なかったでしょう。RS は 51/51 でした。

3位の木村 OM ⇔ 鈴木 OM の間も同様に山岳遮へいがありますが、RS は 55/51 で FB に交信できたのではないのでしょうか。

(2) 最多ポイント交信 (表-4参照)

全般的に飛びの良い移動ポイントはどこか? がわかる部門ですね。

やはり、南北に延びた移動ポイントの中心部のポイントが有利という結果です。

順位	移動局	ポイント数
1	JA1VWB/1 黒山展望台	8
2	JA1UPE/2 天城高原	7
3	JA1WOB/1 子の権現	6
	JJ1SXA/2 伊豆・達磨山	6

なお、コントロール局は番外であります、交信可能ポイント7と多く、FBなポイントです。

(3) その他

こんごの検討課題としては次のとおりです。

- ① 緯度経度の統一を図るためには、地図で移動地を特定し、一元管理して区間距離を算出する必要があります。

緯度のよっても異なりますが、緯度1秒が30.82m、経度1秒で25.36mの差が出ます。HPにある地図ソフトはいくつかありますが、その扱い方によっては読み取り誤差が発生します。

- ② レポートの差の発生について

昨年の再掲になりますが、物理的には、受信感度・送信出力・周囲雑音などの状況により『差』が出ます。そして、人為的には、各人の感覚・主観などで『差』が発生すると考えられます。

しかし、統一的にデータ収集する場合、それらの『差』はなるべく小さくしておく必要があります。

これらの解決策として、a. 実験前のR（了解度）及びS（信号強度）の意味の確認、b. 擬似受信信号の聴き比べ、c. 受信機感度の点検 etc. の実施はどうでしょうか。

・
・
・

新たにコントロール局を担当のJJ1GUW・JE1PPG局お疲れ様でした。

技術講習会では、今年の伝搬実験の結果についてのご意見、提案、感想などよろしくお願ひ致します。

ペディションマンを招聘せよ！とのご要望がありましたが期待に添えるかどうかは当日のお楽しみです。

いまのコンディションはどん底に近いですが、これからが上昇の時期ですので、ますます各エリアからのご参加をいただくことができればFBと思っております。

忘年会での各賞の発表は開けてみてのお楽しみです。

来年も計画されるようでしたら、どうぞ宜しくお願いいたします。

以 上